

市民病院だより

市民が安心できる医療の提供

35

2025.1



第6回大崎市市民病院
ふれあい健康
フェスティバル
～10周年の感謝を込めて～
ご参加ありがとうございました！

約 500 人の方にご来場いただき、無料検査や体験ブース、ステージ発表などで市民の皆さんに楽しんでいただくことができました。

大崎市病院事業のシンボルマークが決定！

大崎市民病院本院が穂波地区に移転して 10 周年を記念し、地域の皆さん、職員または連携する医療機関等に対してより親しみやすさを持っていただけるシンボルマークを新たに募集しました。この度 272 件の応募があり、厳正なる審査の結果、最優秀賞は下記の作品に決定しました。

コンセプト

大崎市民病院のイニシャルである O をモチーフに、ひとつの円弧は患者さんと地域を、もうひとつの円弧は医療をもってそれを支える大崎市民病院を表現しています。その2つが1つの大きな円を作り、その円は「病院とのつながりと信頼」そして「地域の人たちの健康」を象徴しています。

また、中央に配置した葉は鳴子峡をはじめとした、大崎市の自然豊かな様子や大崎市に所在する 6 つの医療施設（大崎市民病院本院、鳴子温泉分院、岩出山分院、鹿島台分院、田尻診療所、健康管理センター）を表しています。

色は健康を表す暖色と紅葉をイメージした橙、安心や信頼を表す緑を合わせました。

応募者 かいとう こうき 海藤 航輝さん

居住地 宮城県

沢山のご応募、ありがとうございました！

他の受賞作品はこちら →



混雑緩和のためのお願い

本院では現在、採血を含む午前中の外来が非常に混雑し、採血の遅れが検査の遅れ・診療の遅れ・院内滞在時間の長時間化・駐車場の不足と悪循環が発生しています。混雑緩和のため診療枠の見直しを行うと共に、**診療日の前日までに採血をお願いする場合や、午後の検査・診療をお願いする場合があります。**

病院の取組方針

- ・ 8:30と9:00の診療予約患者さんは原則「採血なし」の方とします。
- ・ 前日までの採血を推進(診療日前日までの午後の時間帯を活用)します。
- ・ 午後の診療枠の活用を推進します。
- ・ 症状が安定した患者さんは、かかりつけ医への逆紹介を推進します。
- ・ 採血、採尿のある患者さんは、検査結果が出るのに時間がかかることから、診療予約時間の60分～90分前に採血受付を済ませるよう予約時の案内をします。

これらを実施することで…

ご来院1回あたりの院内滞在時間短縮につながります。

市民病院だより

大崎市病院事業広報誌「市民病院だより」Vol.35
2025年1月発行
次回発行は2025年4月の予定です

大崎市民病院 〒989-6183 大崎市古川穂波三丁目8-1
TEL 0229-23-3311 FAX 0229-23-5380
URL <https://www.h-osaki.jp>

ウイルスに負けない！ 正しい手の洗い方

人が感染する要因の多くは、物に付いている細菌やウイルスが手に付着し、手を介して鼻や口、目から体内に入ることです。多くの細菌やウイルスは、ドアノブ・手すり・エレベーターボタン・電気のスイッチ等を介して手から手へと拡がり、それが感染拡大のきっかけとなります。日常の衛生習慣として手指衛生（手洗い、手指消毒）を行うことは、自分自身を細菌やウイルスから守り、感染症の拡大を防ぐことにつながります。正しい手順でしっかり洗いましょう。



無意識の内に手で顔に触れている回数
23回 / 1時間あたり
粘膜への接触
約44%

参考文献：Kwok, Yen Lee Angela, Jan Gralton, and Mary-Louise McLaws. "Face touching: A frequent habit that has implications for hand hygiene." American journal of infection control 43.2 (2015): 112-114.



手には無数の菌が付着しています。



STEP 1 水で濡らす
全体的によく濡らします。



STEP 2 泡を付ける
たっぷり泡を付けましょう。



STEP 3 手の平を洗う
手の平を洗います。



STEP 4 手の甲を洗う
手の甲も汚れがちです。しっかり洗いましょう。



STEP 5 指の間を洗う
汚れが残しやすい所です。



STEP 6 親指を洗う
意外と忘れがちな親指もしっかり付け根から洗います。



STEP 7 爪の間を洗う
かなり菌が付着しやすいところです。



STEP 8 手首を洗う
手首までしっかり洗いましょう。



STEP 9 泡を流す
流し残しが無いように。



After
汚れがほとんど無くなりました。



きちんと洗えていないと…
指や爪の間、手首は汚れが残しやすいところです。

姉妹病院市立宇和島病院との人事交流



市立宇和島病院 MEセンター 臨床工学技士 高瀬 和則さん



透析業務の見学

臨床工学部での実習では、普段経験する事のない業務や、手技・手法が異なる業務などを見学させて頂いていただきました。
さらに実務だけではなく、臨床工学部の変遷や管理体制なども丁寧に教授いただき大変有意義な実習とすることができました。
これからも人事交流を通じてリスペクトし合える関係をよりしくお願ひします。

大崎市民病院と愛媛県にある市立宇和島病院は、平成30年から災害時の協力や情報交換、職員の人事交流を目的に姉妹協定を結んでいます。11月15日から22日までの1週間、市立宇和島病院MEセンターの臨床工学技士 高瀬和則さんに来ていただき、交流を深めました。



大崎市民病院 臨床工学部 臨床工学技師長 松浦 健

宇和島市と大崎市

宇和島藩の初代藩主である秀宗公と、岩出山初代領主である宗泰公が兄弟という深い縁により、1990年に姉妹都市提携をしました。宇和島市は、真珠や魚の養殖、みかんなどの産業が盛んな城下町です。

姉妹協定を結ぶ市立宇和島病院と人事交流を行ったことは、刺激のかつ大変光栄なことでした。
業務のDX化や、タスクシフトなど学ばべきことも多く、とても役立つ情報交換となりました。
今後とも永く交流を続け、臨床工学部も歩みを止めず、患者さん、地域に、より安全安心な医療の提供につなげたいと考えています。

登録医のつどいを開催



あいさつする今泉院長

11月20日に、「第18回大崎市民病院登録医のつどい」を開催しました。この会は、当院の登録医である先生方と、当院医師との連携の推進、地域全体の医療の質向上と充実を図ることを目的として毎年開催しており、院内外合わせて147人の医師や看護師などが参加しました。
つどいでは、消化器内科の紹介や、婦人科でのロボット支援手術への取り組みをはじめ、骨粗しょう症リエンチームの活動やがんゲノム医療、分院の在宅療養支援について研修を行いました。
今後、大崎地域の医療機関との交流を深め、地域完結型医療の構築に努めます。

患者さんの命を守るために 防火訓練を実施



訓練の様子

11月14日に、火災を想定した避難訓練を実施しました。これは、患者さんの避難や防火体制を検証し、患者さんの命や身体を守りながら被害を最小限に抑えるための救助および消火技術の習得を目的としています。今回は、本院4階南病棟での火災発生を想定した訓練で、患者・患者家族役を含め60人の職員が参加しました。
防火・防災管理者である総務課長からは「各自役割を全うし、避難を完了することができた。実際に火災が発生した場合も、同じように行動できるように努めてほしい。」と講評がありました。
今後、市民の皆さんが安心して当院を利用できるよう努めます。